

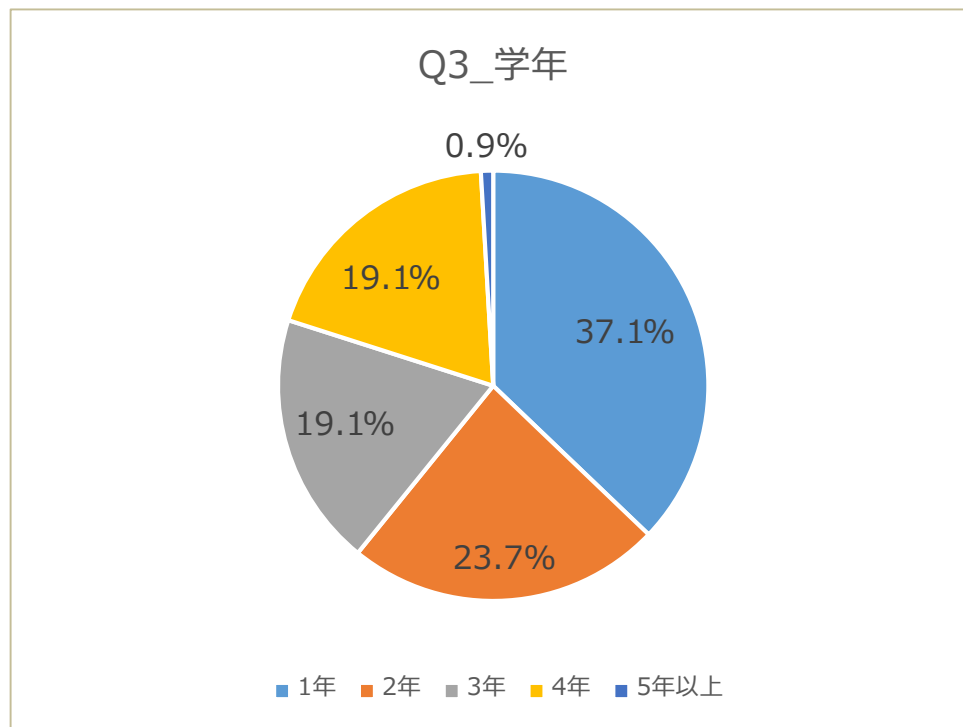
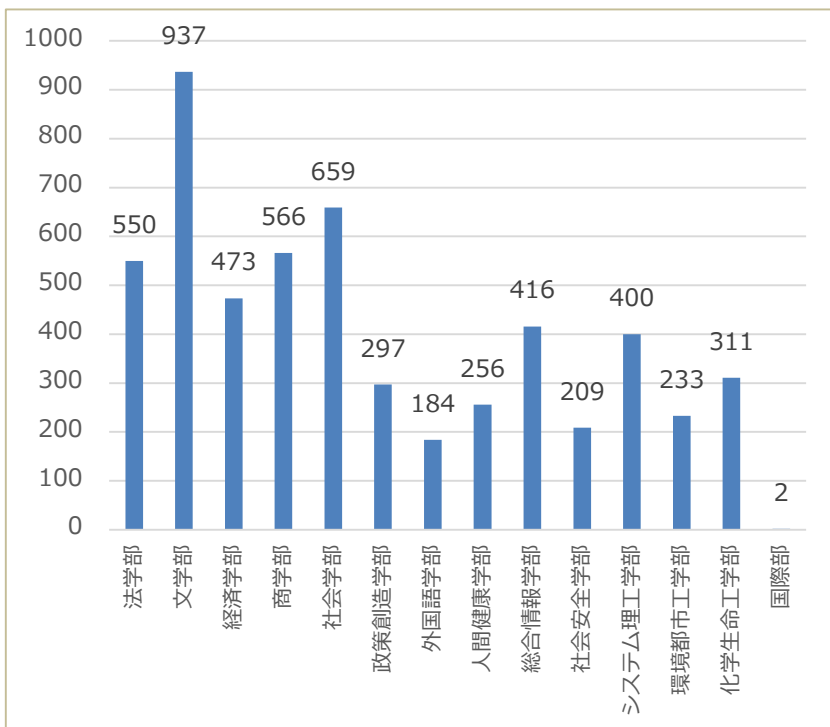
2021年度春学期
授業・学生生活に関するアンケート
(ダイジェスト版)

教学IRプロジェクト

2021年9月



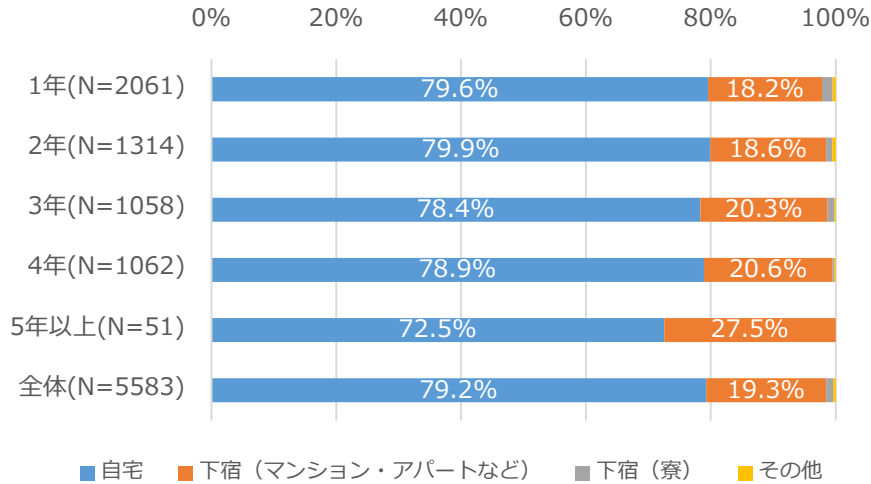
- 1 調査期間 : 2021年7月5日(月)～7月30日(金)
- 2 調査対象 : 学部生全員(27,736名)
- 3 調査方法 : インターネットを活用したアンケート調査(無記名)
- 4 有効回答 : 5,591件(回答率20.2%)
- 5 回答属性 :



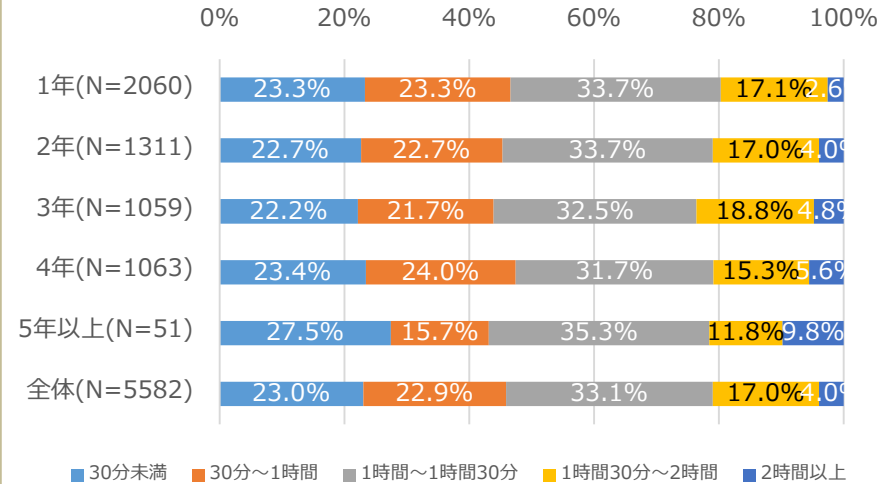
I 属性



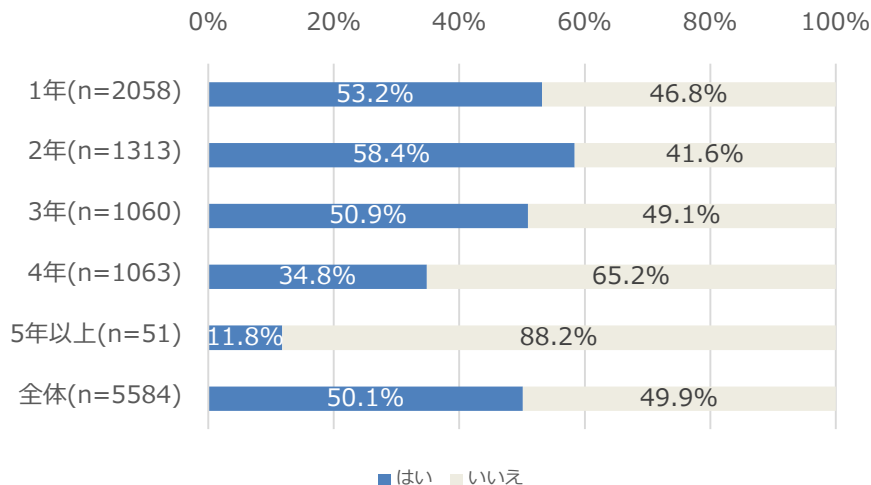
Q4 居住形態



Q5 通学時間 (片道)



Q6 クラブなど課外活動団体への所属



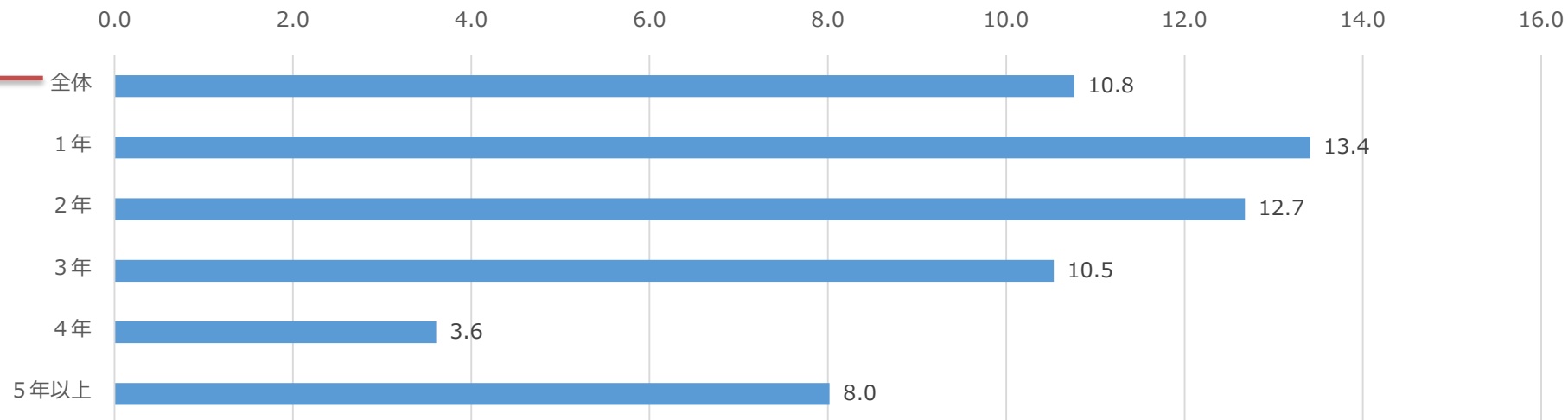
- Q4 居住形態は、約8割が自宅から通学し、学年による差異はない
- Q5 通学時間 (片道) は、1時間~1時間30分の項目が多く選ばれ、学年による差異はない
- Q6 課外活動団体への所属は、全体50.1%で、コロナ以前は6割近い所属率*であるのに対し、10pt低い結果となった *所属率59.8% (2018年度学生実態調査)



Ⅱ 授業に関すること

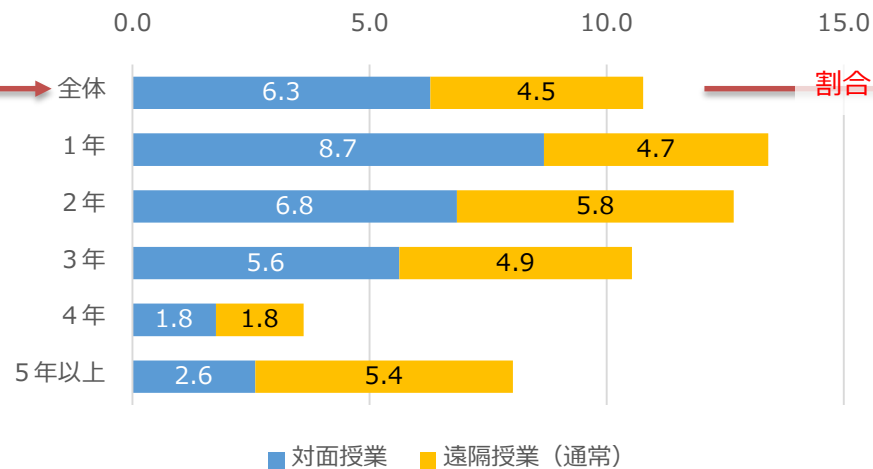


履修科目数（平均）



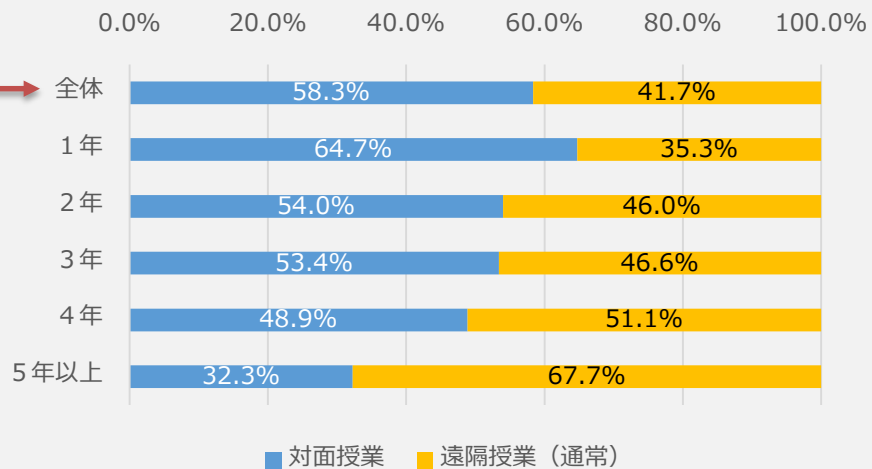
内訳

履修科目（平均） 対面/遠隔



割合

履修科目（割合） 対面/遠隔

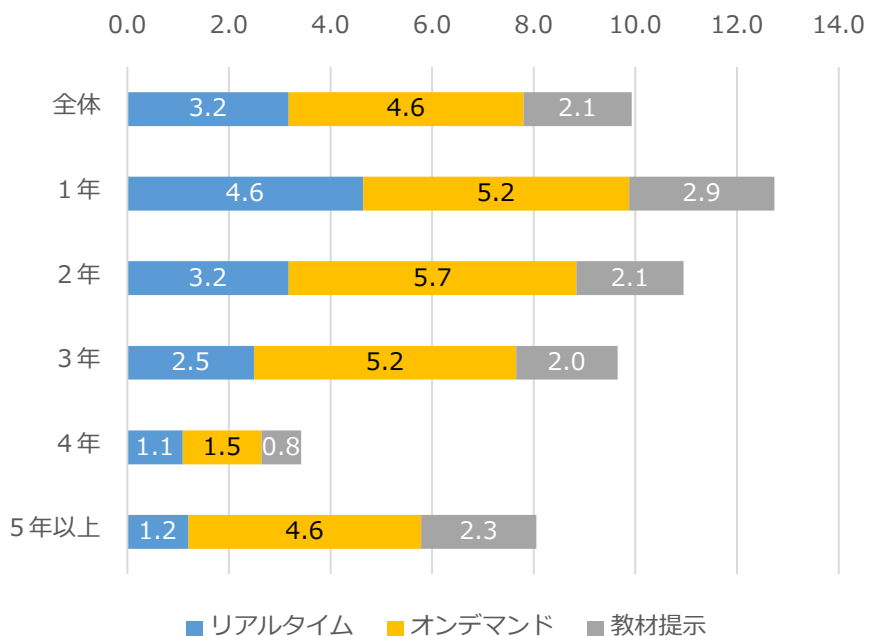


遠隔授業実施期*における授業形態別履修状況

* 4月19日～6月19日の間、遠隔授業を実施

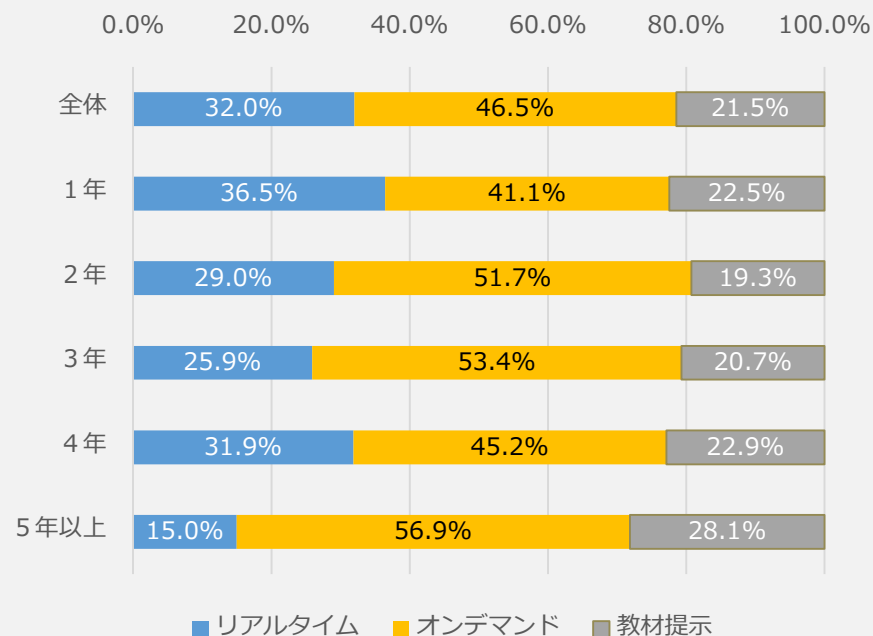
- 授業実施形態を遠隔授業に変更した時期（4月19日～6月19日）に受講していた授業の形態別科目数（平均）と割合を表示
- 全体では、リアルタイム3割：オンデマンド5割：教材提示2割となった

授業形態別の履修科目数（平均）



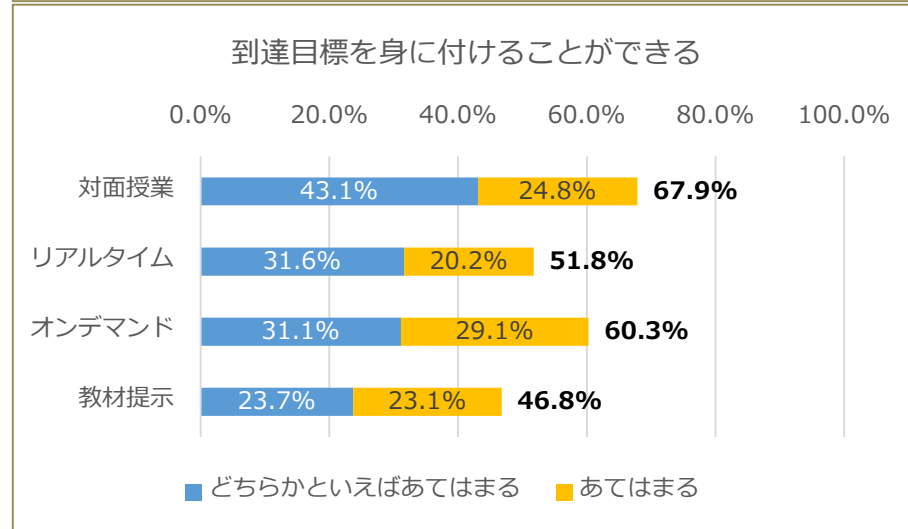
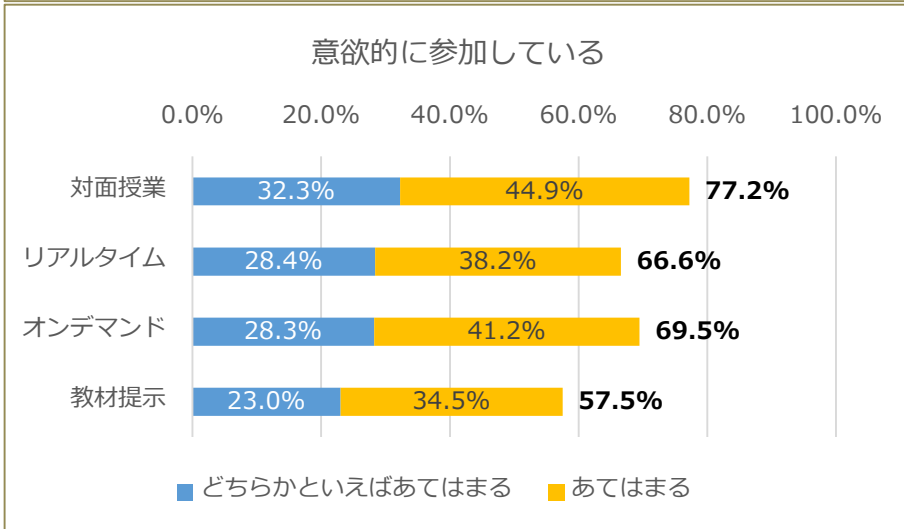
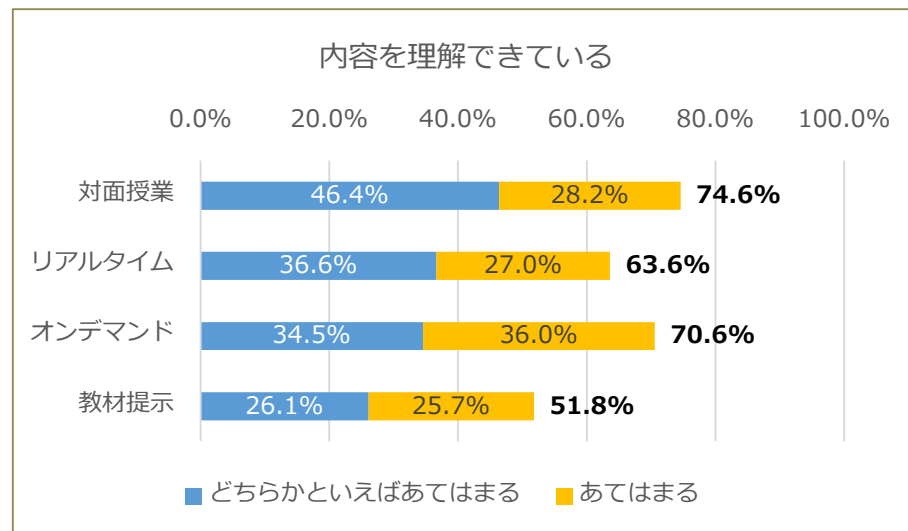
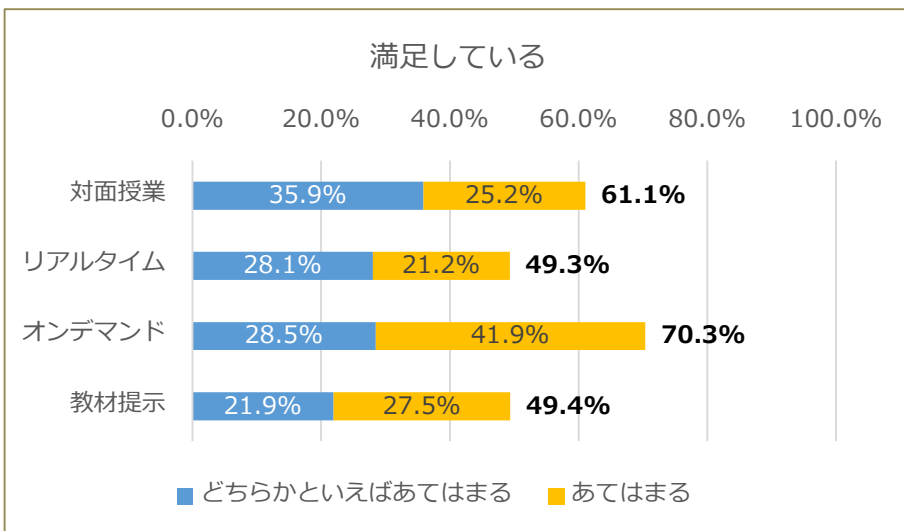
割合

授業形態別の履修科目数（割合）



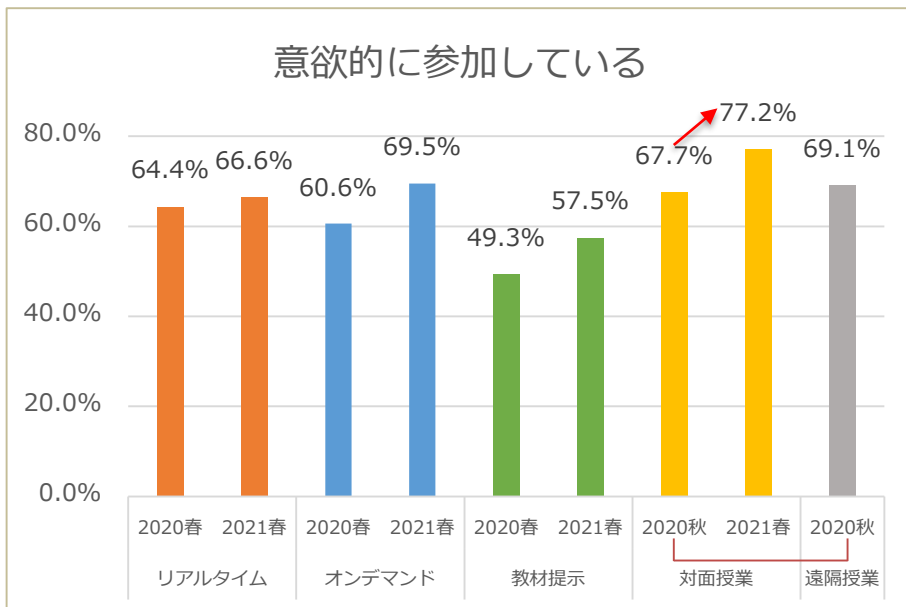
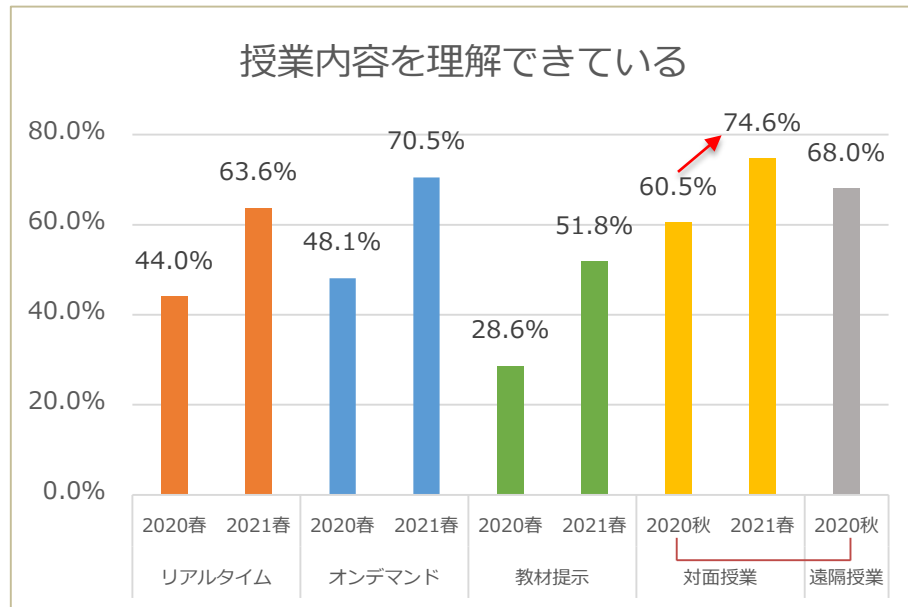
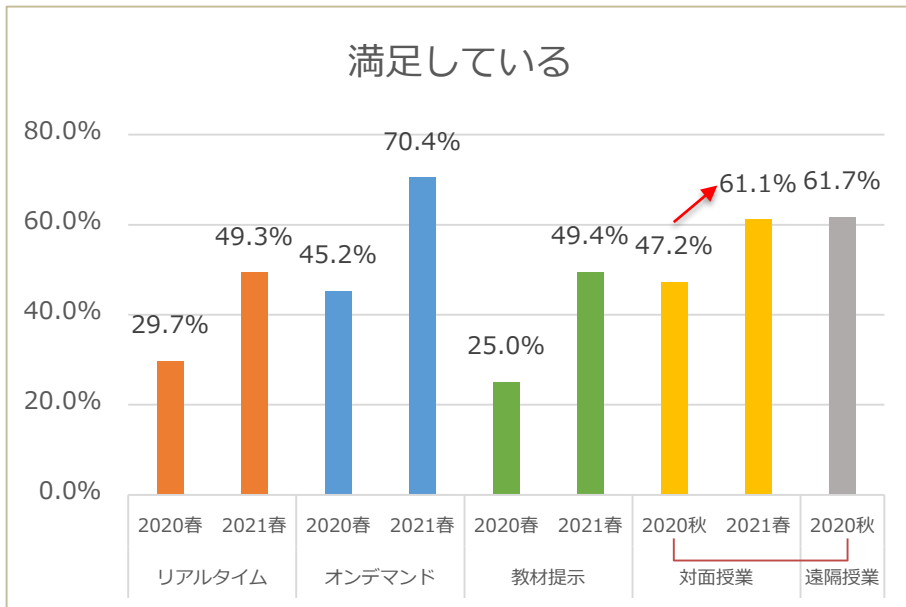
各授業形態別の満足度/理解度/参加意欲/到達目標獲得

- 「どちらかといえばあてはまる」「あてはまる」の割合のみを表示
- 満足度/理解度/参加意欲/到達目標獲得に対して、対面授業およびオンデマンド配信授業のポイントが高い値となった



参考：2020春および2020秋の調査結果との比較

※2020秋学期調査では「遠隔授業」とまとめて質問しているため、授業形態別の集計はない



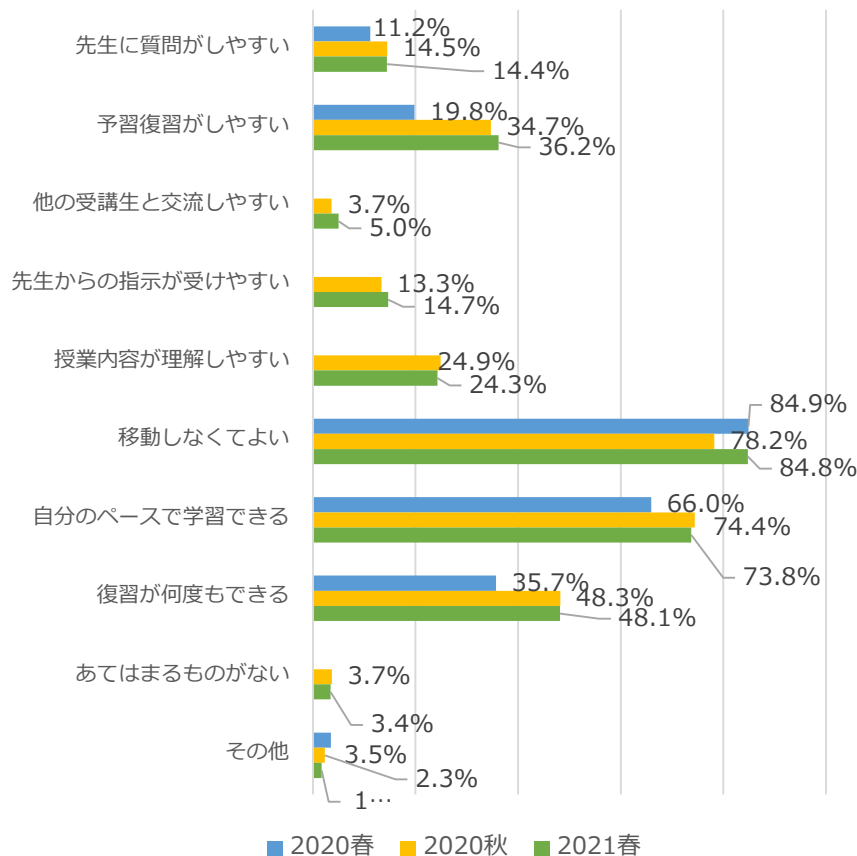
- 2020年秋学期の調査では、満足度など、遠隔授業 > 対面授業であった（満足度では14.5pt差）
- 2021年春学期の調査における対面授業では、2020年秋学期調査の対面授業と比べても、高い値となった

【各学期の授業実施形態】
 2020年春：原則、遠隔授業を実施
 2020年秋：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施
 2021年春：原則、対面授業とし、一部遠隔授業を実施
 対面授業は学期途中において、対面授業→緊急的な遠隔授業→対面授業となった

- 2020年春および2020秋に実施した調査結果と合わせて表示
- 2020秋（黄）と今回実施の2021春の結果（緑）の全体傾向は概ね同じだが、「困っていること：課題が多い」は減少傾向となった

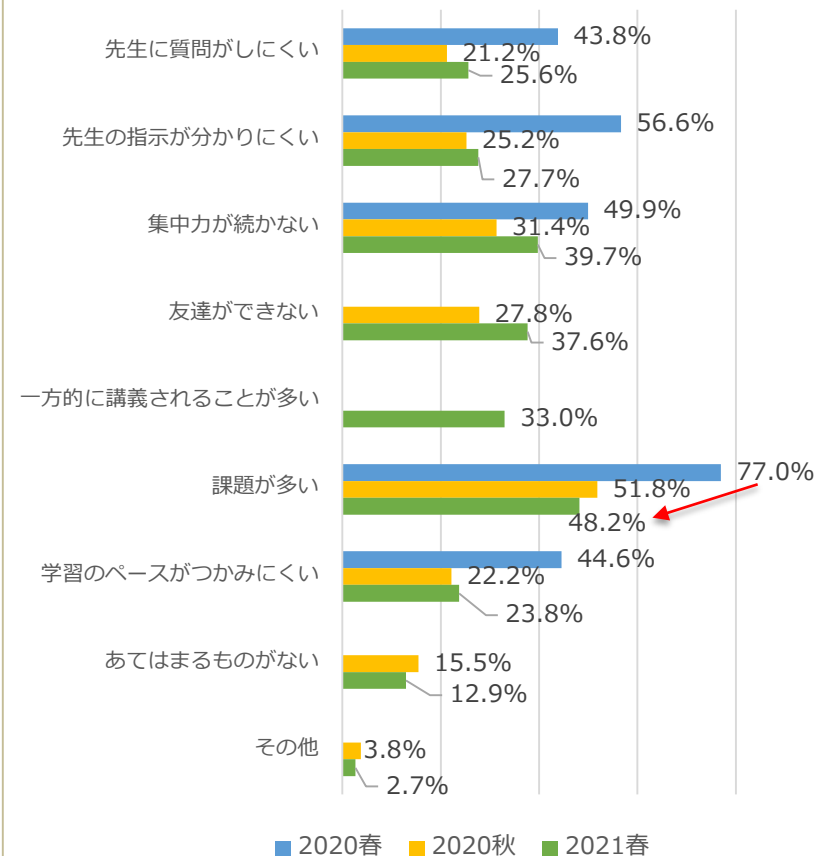
遠隔授業を受講して「よかったこと」

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



遠隔授業を受講して「困っていること」

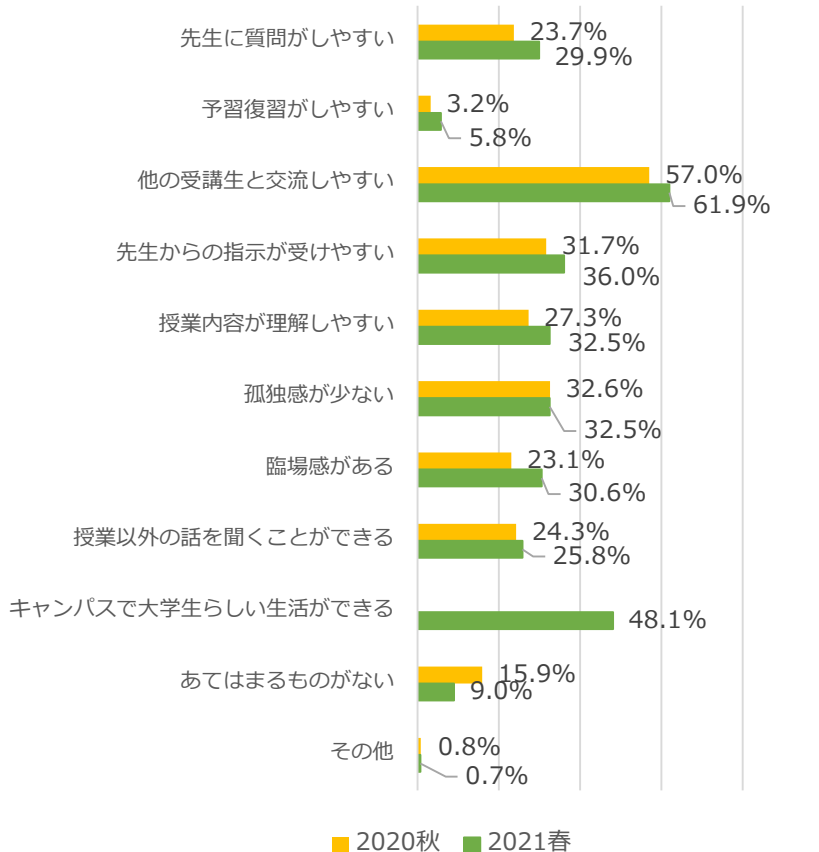
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



- 2020秋に実施した調査結果と合わせて表示
- 2020秋（黄）と比べて全体傾向は概ね同じだが、「困っていること：一方的に講義されることが多い」は大幅に減少した

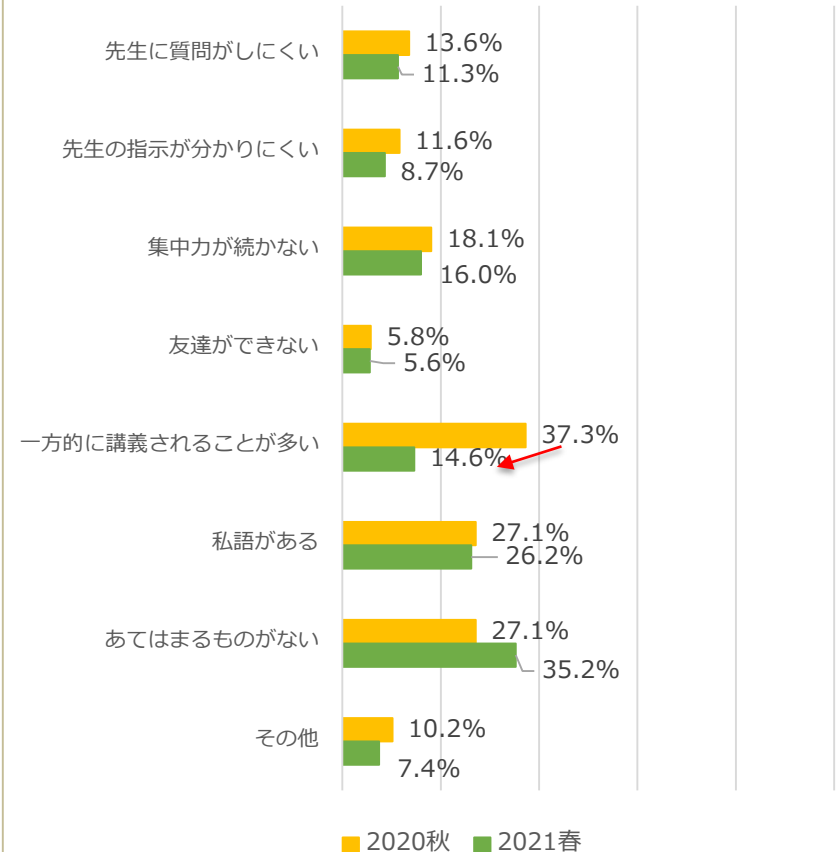
対面授業を受講して「よかったこと」

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



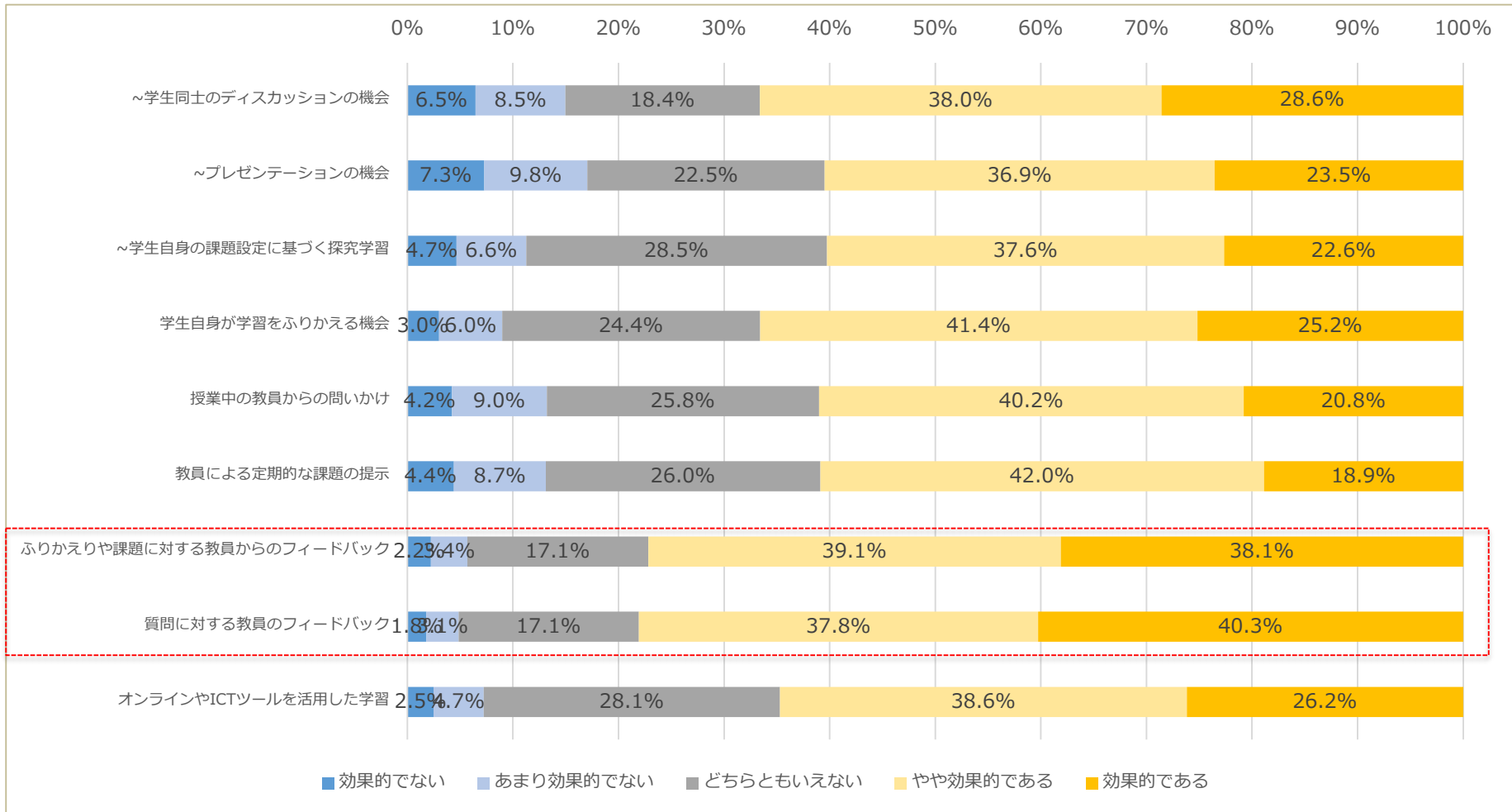
対面授業を受講して「困っていること」

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



Q20 学習意欲や学習効果を高めるうえで、以下のような方法はあなたにとってどのくらい効果的ですか。

- それぞれの項目は、半数以上が効果的であると回答された
- 教員からのフィードバックに関する項目が「効果的である」いう回答が8割近くとなり、最も高い値となった（「効果的」+「やや効果的」）

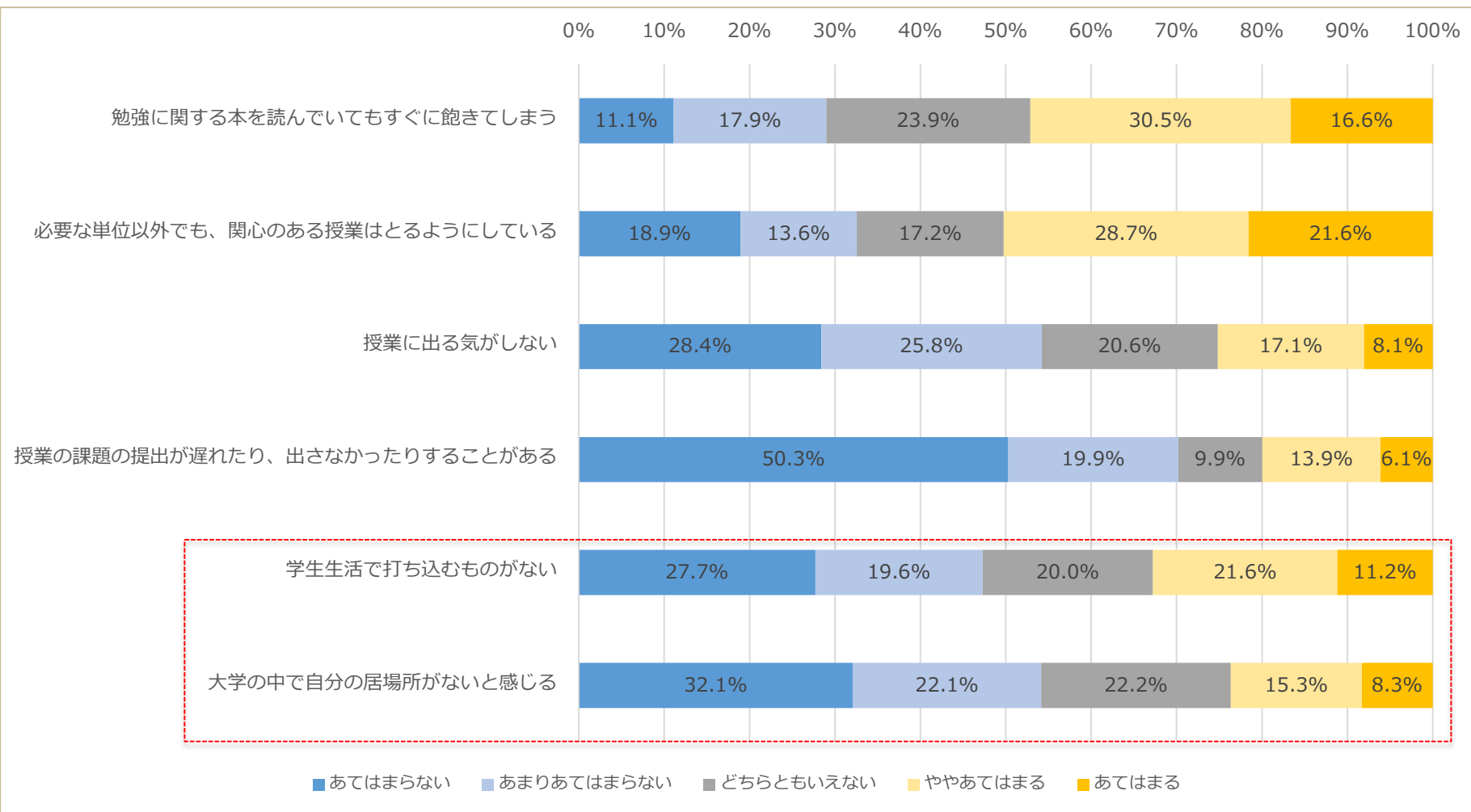


Ⅲ 不安やストレスなど



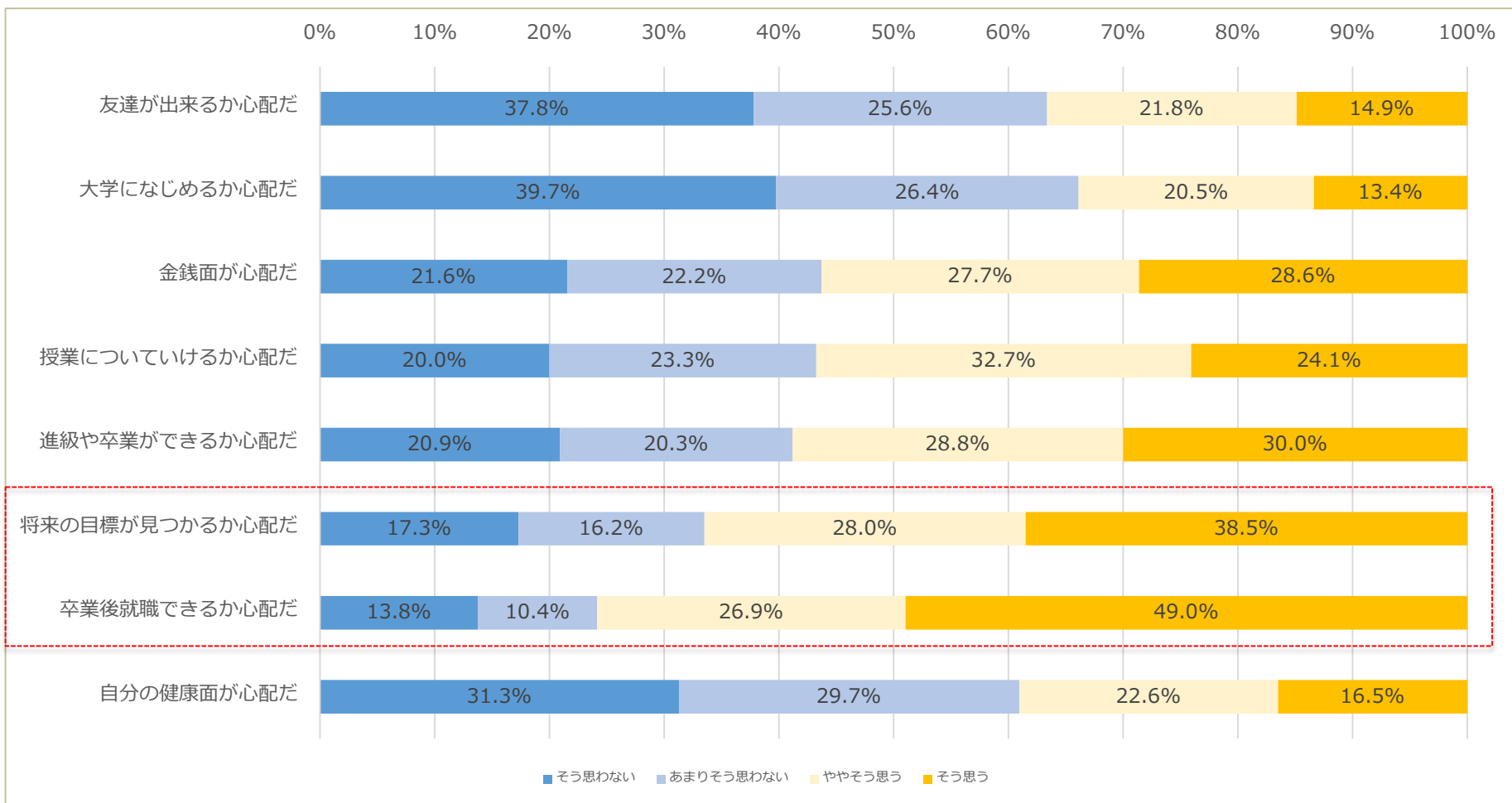
Q24 現在、以下のようなことにどのくらいあてはまりますか。¹⁴

- 上位4項目の授業に関する質問は、学年による差はなかった
 - 下位2項目の学生生活に関する質問は、学年による差*があった
- * 2年生のネガティブな値が高くなる（学年による差は、別途「全体集計版」を参照）



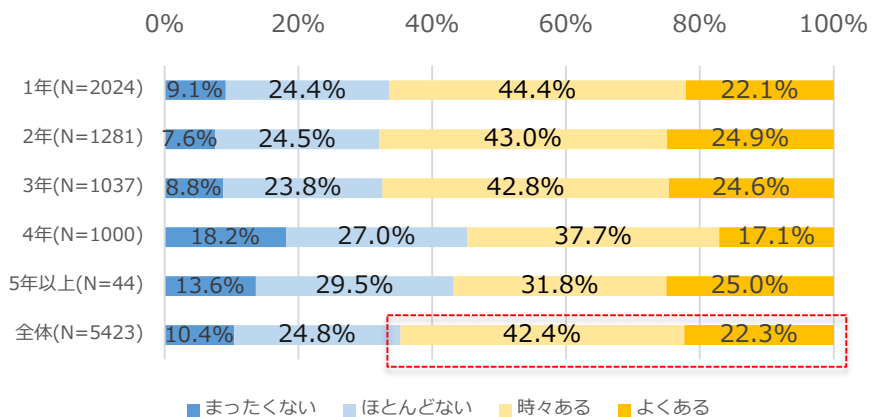
Q25 現在、以下のような不安をどのくらい感じていますか。 15

- 「入学時調査」と同様の質問を設定した
- 将来目標や就職に関する項目（赤枠）では、入学時から学年進行することによって不安が高まる傾向となった（入学時の値<現在の値）

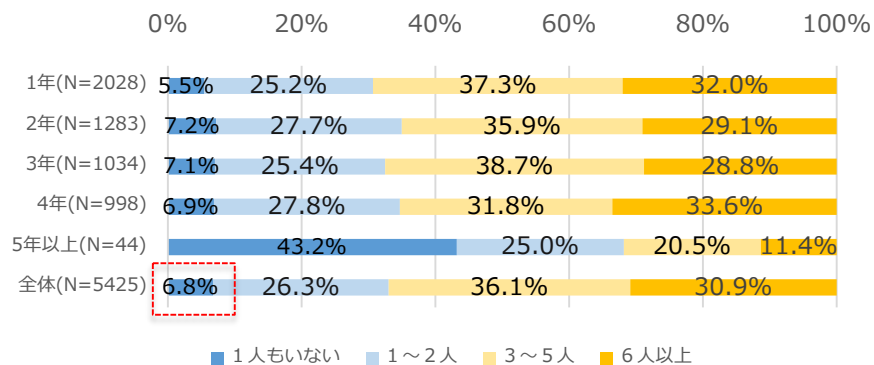


- Q26気落ちしたりする：全体では64.7%（時々ある＋よくある）
- コロナ禍でのチャレンジでは、資格取得、語学力習得に挑戦するコメントが目立った（自由記述より）

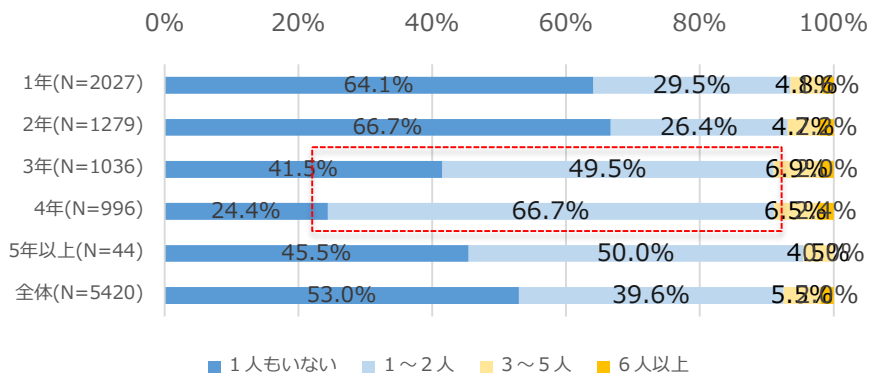
Q26 気分が落ち込んだり、一人で悩んだりすることがある



Q27 授業や学生生活について情報交換をしたり、相談をし合ったりできる関西大学の学生はどれくらいいますか。



Q28 授業や学生生活について分からないことを尋ねたり、相談し合ったりできる関西大学の教員や職員はどのくらいいますか。



Q29 コロナ禍で新たに取り組んだことやチャレンジしていることはありますか。

